

## 社会調査の基礎

**問題 84** 社会調査における倫理に関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。

- 1 調査対象者からの求めがあった場合でも、調査者は調査データ提供先の情報開示を拒否することができる。
- 2 調査対象者が社会調査に協力したことで不利益を被ることのないよう、調査者は調査対象者の権利擁護に努める必要がある。
- 3 質問紙の作成にあたり、先行研究で使用された質問紙の一部を使用する場合、その旨を明示することなく使用することができる。
- 4 事例研究で得られたデータに、調査対象者を特定できる情報が含まれている場合は、実名を公表することができる。
- 5 調査研究において研究倫理違反とみなされる行為として、調査結果の捏造<sup>ねつぞう</sup>や改ざん、違反行為の証拠隠滅または調査妨害があげられる。

**問題 85** 観察法に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 観察法は、「非言語性」が特徴の1つであり、言語能力の未発達な乳幼児や言語障害のある人も調査対象にできる。
- 2 参与観察においては、観察を優先し活動には参加しない「観察者としての参加者」でいることが求められる。
- 3 参与観察で、フィールドノートに間違いや勘違いがあると気づいた場合は、記録を新たに作成し直し、以前のものは破棄する必要がある。
- 4 非統制的観察とは、ありのままを観察するために、あらかじめコントロールした状態にある枠の中で観察することである。
- 5 アクションリサーチとは、問題解決のため、研究者が理論的枠組みに基づいて調査対象者を指導する調査方法である。

**問題 86** インタビューで得られたデータの整理と分析に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 「コーディング」とは、インタビュー実施前に作成したコードに、インタビューで得られたデータを当てはめていく作業である。
- 2 「ピアチェック」とは、分析の妥当性を高めるために、対象者に結果を示し、意見をもらうことである。
- 3 「図解化」とは、コードとコードの間にどのような関連があるのかを示す矢印や説明をつけ、図を作成する作業である。
- 4 「逐語記録（トランスクリプト）」とは、会話分析のために、会話の内容で重要だと判断した部分を文字に起こすことである。
- 5 グラウンデッド・セオリー・アプローチ（GTA）では、「データの収集」と「データの整理・分析」が同時並行に行われる。

**問題 87** データ収集の方法に関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。

- 1 「平成27年国勢調査」（総務省）では、インターネット回答のオンライン調査が実施された。
- 2 電話調査法で対象者を選択する方法として、RDD（Random Digit Dialing）法がある。
- 3 既婚女性への家庭内暴力調査は、調査員による訪問面接調査法が適している。
- 4 郵送調査法は、ほかの方法に比べて回収率が高くなる傾向にある。
- 5 留置調査法は、ほかの方法に比べて回収率が低い傾向にある。

**問題 88** 質問紙の作成方法に関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。

- 1 キャリーオーバー効果を活用し、質問内容の似たものをまとめることが望ましい。
- 2 質問紙による調査法の場合、質問紙原案のプリテストは行わないことが望ましい。
- 3 質問紙を作成する際には、ワーディングに留意することが望ましい。
- 4 質問紙作成時の工夫により、誤差を軽減できる可能性がある。
- 5 質問の仕方を工夫し、インパーソナルな質問は避けることが望ましい。

**問題 89** 全数調査と標本調査に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 A障がい者施設において、利用者のうち女性全員を対象として実施する調査は、層化抽出法による標本調査である。
- 2 Bふれあいサロンに通う高齢者89名全員を対象とした継続参加意向調査であっても、全員から回答が得られない場合は、標本調査である。
- 3 20歳以上のC市民を母集団とした標本調査では、標本の性質から母集団の性質について推定・検定を行う推測統計を用いる。
- 4 児童相談所を全都道府県から1か所ずつ選んで調査の対象とした、子どもの貧困と虐待の関係に関する実態調査は、全国の児童相談所を母集団とした全数調査である。
- 5 家庭の貧困状態が虐待の発生と関係しているという作業仮説について、標本データがそれを支持するかを判断することを推定という。

**問題 90** 回帰分析に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 散布図上のデータ点が回帰直線の近くに多い場合、相関係数は1または-1に近くなる。
- 2 従属変数を現在の体重、独立変数を1か月後の運動量とする単回帰式は、適切な単回帰式である。
- 3 回帰分析では、独立変数は因果関係における結果を示すものである。
- 4 回帰分析に用いられる従属変数の例として年齢があげられる。
- 5 単回帰分析の回帰係数が負の値の場合、独立変数は従属変数に影響を与えていないといえる。

## 相談援助の基盤と専門職

**問題 91** 2007年（平成19年）に改正された社会福祉士及び介護福祉士法に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 2007年（平成19年）の改正で、認定社会福祉士に関する条文が定められた。
- 2 社会福祉士は「福祉に関する相談に応じ、助言、指導及び必要に応じて介護を行う者」と定められた。
- 3 成年被後見人、被保佐人又は被補助人は社会福祉士となることができないと定められた。
- 4 社会福祉士は「その担当する者が個人の尊厳を保持し、自立した日常生活を営むことができるよう、常にその者の立場に立って、誠実にその業務を行わなければならない」と定められた。
- 5 社会福祉士は、社会福祉を取り巻く環境の変化に惑わされることなく、相談援助に関する知識及び技能の向上に努めなければならないと定められた。

**問題 92** 事例を読んで、**B** 課長（社会福祉士）の対応に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

Q市で息子と二人暮らしをしている**C**さん（84歳，女性）は，半年前に脳梗塞で倒れた後，寝たきりとなったため，日常生活は息子が全介助している。また，軽度の認知症症状がみられる。**C**さんは，週1回の訪問入浴介護を利用している。訪問入浴の際，**C**さんの腕や足の数か所にあざがみられ，また，体重が減少しており，十分な栄養・水分補給ができていない状況がうかがわれた。担当の**D**介護支援専門員が**C**さんにあざのことを確認したが「たいしたことない」としか答えない。息子にも確認したが「わからない」とのことであった。**D**介護支援専門員からQ市の高齢者虐待の担当課に連絡が入った。事実確認のため，高齢福祉課の**B**課長と**D**介護支援専門員が**C**さん宅を訪問することとした。

- 1 **C**さんは軽度の認知症であることから**C**さんの話は聞かずに対応策を検討する。
- 2 虐待の疑いがあることを息子に指摘し，**C**さんを施設に入所させるよう息子に助言する。
- 3 息子と**C**さんからの聞き取りは**D**介護支援専門員と分担して行うなど，**C**さんのプライバシーが守られる状況で話を聞く。
- 4 **C**さんが安心して相談できるように，知り得た情報は記録を残さないことを最初に伝える。
- 5 **D**介護支援専門員が通報したことを民生委員に伝え，息子の虐待を防止するための対応について協力を依頼する。

**問題 93** 2014年のソーシャルワーク専門職のグローバル定義に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 経済成長を前提とする社会開発を国際的に推進していくことが強調されている。
- 2 グローバルな視野に基づく統一性と、国や地域ごとの多様性とを両立することが難しいと指摘されている。
- 3 グローバル化の弊害を抑制するため、ミクロ-マクロの次元あるいは個人的-政治的次元を切り離して考える必要性が示されている。
- 4 「ソーシャルワーク」は、実践に基づいた専門職であり学問であることが明示された。
- 5 ソーシャルワークが、「人々とともに」ではなく、できる限り「人々のために」実践されることの必要性が説かれている。

(注) 「ソーシャルワーク専門職のグローバル定義」とは、2014年7月の国際ソーシャルワーカー連盟 (IFSW) と国際ソーシャルワーク学校連盟 (IASSW) の総会・合同会議で採択されたものを指す。

**問題 94** 事例を読んで、E 社会福祉士がとった対応として適切なものを 2 つ選びなさい。

〔事 例〕

E 社会福祉士がサービス管理責任者として勤務する事業所（就労移行支援）の利用者で、軽度の知的障害がある F さん（28 歳，女性）は，実家から同じ町内の事業所まで，一人で歩いて通所している。ある日の朝，通所中に道路の横断歩道がない場所を渡ろうとして車と衝突し，全治 2 か月の大けがで入院することとなった。ほかの利用者の多くが F さんと同様に自力で通所していることから，E 社会福祉士は通所中の利用者の安全確保や事故の予防への対応を迫られることとなった。

- 1 地域の小学校やそのPTA等と協議した上で，小学生の登下校の見守りボランティアと連携し，歩いて通所する利用者への見守りや声かけ活動を推進した。
- 2 予防的観点から，利用者の生活状況を再アセスメントし，送迎サービスの利用に切り替えるようにした。
- 3 地域における利用者への理解の促進や啓発活動が重要であるとの考えから，利用者の特徴等を詳細に記した書面を作成し，地域住民に配布した。
- 4 F さんの実家が E 社会福祉士の通勤途中にあることから，当面の間，自家用車で送迎することにした。
- 5 利用者や家族との話し合いの場を持ち，利用者が自力で通所する中で気づいたことや課題に感じていること等を表明してもらい，ニーズのとりまとめを行った。



**問題 95** ノーマライゼーションの歴史に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 ノーマライゼーションの理念は、1950年代にデンマークで知的障害のある人たちを支援する専門職団体の活動を通して具現化されてきた。
- 2 ノーマライゼーションとは、障害のある人たちを治療を通してノーマライズするという意味である。
- 3 ノーマライゼーションの考え方が初めて公式に示されたのは、デンマークにおける社会サービス法である。
- 4 バンク-ミケルセン (Bank-Mikkelsen, N.) は、ノーマルな生活条件のための8つの原則を提唱した。
- 5 ノーマライゼーションは、現在では社会福祉・ソーシャルワークにおける重要な基盤原理となっている。

**問題 96** アドボカシーに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 社会において最も弱い立場におかれている人たちに焦点を当て、その人たちの権利の復権を支援する。
- 2 ベイトマン (Bateman, N.) は、アドボカシーに必要なスキルとして、面接と沈黙の2つをあげている。
- 3 クラスアドボカシーとは、ホームヘルプサービスが本人の望むような形で提供されるように支援することである。
- 4 家庭内での人権侵害は私的なものとしてアドボカシーの対象とはならない。
- 5 支援者が所属している施設利用者のアドボカシーを行うことは、所属する施設との利益相反行為には当たらない。

**問題 97** 事例を読んで、**G**社会福祉士の対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

R市の社会福祉協議会に勤務する**G**社会福祉士は、小地域福祉活動事業に取り組んでいる。ある日、**G**社会福祉士は民生委員から**H**さん（79歳、男性）のことで相談を受けた。民生委員によると「**H**さんは長年、今の自宅で生活をしており、退職後は町内会活動にも積極的に参加してきたが、2年前に妻が他界してからはほとんど外出しなくなった。それからしばらく経過した頃から**H**さんの自宅から異臭がするようになり、近隣住民の間では認知症ではないかと噂になっている」とのことだった。そこで、**G**社会福祉士は民生委員とともに**H**さんの自宅を訪問したところ、自宅内のいたるところにごみが山積み不衛生な状態であった。**G**社会福祉士が**H**さんと話したところ、**H**さんは「特に困っていることはない。今の生活のままでよい」と語った。

- 1 認知症が疑われるため、医療機関への入院を勧める。
- 2 自宅からの異臭が、近隣住民の迷惑となっていることを説明し、ホームヘルプサービスの利用を勧める。
- 3 本人の意向を踏まえ、今の生活状況に対する特段の介入・対応は行わずしばらく様子を見る。
- 4 ソーシャル・サポート・ネットワークを構築・強化するために、関係機関や地域住民等に対するはたらきかけを行う。
- 5 自宅の状況から金銭管理もできていないと思われるため、日常生活自立支援事業の利用を提案する。

## 相談援助の理論と方法

**問題 98** 相談援助のための面接技術に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 相談援助面接の準備をする際は、先入観を排除するため、質問の構成は前もって考えないことが望ましい。
- 2 相談援助のための面接では、クライアントの話を傾聴することが大切であるため、ソーシャルワーカーはなるべく質問しないようにする。
- 3 クライアントの利益を最優先にするために、相談援助における面接では、権威や力がソーシャルワーカーに与えられることが多い。
- 4 相談援助のための面接は、相談機関や施設にある面接室（相談室）で行われ、クライアントの居宅では行われぬ。
- 5 面接場面において、クライアントの感情をソーシャルワーカーが自分の感情において積極的に理解しようとすることを「直面」という。

**問題 99** 事例を読んで、社会福祉協議会における J 社会福祉士の対応として、適切なものを 2 つ選びなさい。

〔事例〕

ある日、X 社会福祉協議会に、K 民生委員から、近所の男性（50代）の様子が気になっているという相談が持ち込まれた。数年前に引越してきた男性は一人暮らしであり、引越当初は仕事をしていたようだが、最近は毎日自宅で過ごしている様子だという。先日、K 民生委員が男性宅を訪問したところ、次の仕事が見つからないとふさぎ込んでおり、「近所に知り合いがおらず、どうせ自分は一人だからどうなってもいい。生きていても仕方がない」と話していたようだ。K 民生委員はゲートキーパーの養成研修を受講していたことから、男性の発言が気になっており、また、「地域にゲートキーパーが増えるように、担い手養成のための研修を企画してほしい」との要望を語っていた。この企画について、J 社会福祉士はこれまでも何度か相談を受けていた。

- 1 担当地域でも自殺防止のための活動が必要ではないかと考え、住民を対象にした自殺防止に関する講座を企画しようと考えた。
- 2 K 民生委員から要望のあったゲートキーパー養成のための研修企画については、X 社会福祉協議会の業務ではないため他機関に依頼するようアドバイスした。
- 3 K 民生委員からすでに十分な情報を得ているため、地域実態を把握する調査を実施する必要はないと判断した。
- 4 住民が顔を合わせる機会を設定しようと考え、男性を対象とした料理教室を企画した。
- 5 当初、地域から孤立しがちな人が参加しやすい事業を考えたが、個人情報を保護するためにも、他人とかかわる機会は設けないほうがよいと考えをあらためた。

**問題 100** ケースマネジメントの構成要素と過程に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ケースマネジメントでは、クライアント自身も支援に活用する資源として位置づけられる。
- 2 ケースマネジメントにおいて、クライアントの家族は支援の対象者ではなく社会資源として位置づけられている。
- 3 ケースマネジメントはソーシャルワーク固有の援助技術であり、ソーシャルワーカー以外の専門職は活用していない。
- 4 ケースマネジメントの過程では、専門職であるケースマネジャーが主導権をとり支援が進められる。
- 5 ケースマネジメントでは、クライアントや家族の負担額を意識して、主にインフォーマル・サポートを用いてケアプランを作成する。

**問題 101** 自助グループと専門職との関係性に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 自助グループは当事者による主体的な活動であるため、専門職がその結成にかかわることはない。
- 2 自助グループの運営に専門職が関与することによって、グループ活動に制約が生じる場合がある。
- 3 自助グループのもつ体験的知識は主観的なものであるため、専門職がもつ専門的知識のような価値はない。
- 4 自助グループの安定した運営のために、専門職はできるだけ多くのクライアントをそのグループに紹介することが求められる。
- 5 専門職は自助グループと対立的な関係にあるため、一定の距離を保つ必要がある。

**問題 102** 事例を読んで、この場面における L 相談支援員（社会福祉士）の対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

〔事例〕

一人暮らしの M さん（34 歳，男性）は、2 年前に働いていた職場をうつ病で退職し、現在は仕事をせずに通院しながら療養生活を送っている。何度かコンビニで夜勤のアルバイトをしてみたものの、体調が悪化し長く続かなかった。現在も体調は万全の状態ではないものの、貯金が 30 万円を切ったため、このままでは生活できなくなると考え、自立相談支援機関に相談に来た。L 相談支援員が対応したところ、M さんは「このままでは生活できなくなる。不安で夜眠れず、昼に寝てしまうので就職の面接にも行けない。この歳になって親に迷惑をかけることは絶対にしたくない。どうしたらよいですか」と訴えてきた。

- 1 貯金がなくなったら福祉事務所に生活保護の申請に行くよう伝える。
- 2 このままでは生活できなくなるので、親元に帰ることを提案する。
- 3 まずは、M さんが訴える「このままでは生活できなくなる」状況について傾聴しつつ、その緊急度の検討を行う。
- 4 ハローワークに行き、安定した生活をするため正規雇用の就労先を探すよう伝える。
- 5 就労支援員と連携して、M さんのような人でも働きやすい求人開拓に取り組む。

**問題 103** 課題中心アプローチに関する以下の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 リード (Reid, W.) とエプスタイン (Epstein, L.) は、問題解決アプローチ、心理社会的アプローチ、行動変容アプローチなどの既成の技術を包括的に再構成した援助方法として課題中心アプローチを提唱した。
- 2 課題中心アプローチにおける援助者の役割は、クライアントが自らの努力で達成可能な課題を、できるだけ時間をかけて長期にわたって取り組めるように支援することである。
- 3 課題中心アプローチはクライアントの現実存在のあり方を重視するため、プラグマティズムではなく実存主義の影響を強く受けている。
- 4 課題中心アプローチは、協働で課題を設定して実現可能な「処遇計画」を策定し実施することから、取り組み意欲の低いインボランタリーなクライアントに最適な支援方法である。
- 5 クライアントの課題達成度は客観的な証拠によって示すことが困難なため、課題中心アプローチとエビデンス・ベースド・プラクティス (EBP) の考え方は相容れない。

**問題 104** 事例を読んで、A相談支援員のこの後の対応に関する次の記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

〔事例〕

A相談支援員は、S市社会福祉協議会の職員で生活困窮者自立支援事業の自立相談支援事業に携わっている。S市社会福祉協議会は「自立相談支援窓口」を開設して生活困窮者の相談支援を実施しているが、相談窓口に直接訪れるのはほとんど50歳以上の中高年の人であった。ただ、A相談支援員は、「S市には経済的に困窮していても社会的に孤立し、声を上げられないひきこもりの若者も多く存在している」と推測し、そのような若者に対してアウトリーチを行い、自立相談支援事業につなげるための支援を計画した。

- 1 「自立相談支援窓口」について説明したチラシを作成および配布し、ひきこもりの若者に対して相談窓口に来るように促した。
- 2 S市社会福祉協議会のバックアップのあるなしにかかわらず、S市内でひきこもりの若者が住んでいる可能性がある家すべてを自ら訪問し声かけを行った。
- 3 民生委員の定例会や地域の集会に積極的に参加し、ひきこもりの若者についての情報をもっている可能性のある近隣住民や民生委員に自立相談支援窓口の存在をアピールした。
- 4 教育委員会等との組織的なやりとりには時間がかかるため、S市内の中学校や高校を直接訪問し、学校を休みがち等の課題があった過去の学生と認知しているひきこもりの若者について話を聞いた。
- 5 業務時間内は自立相談支援窓口から離れて若者へのアウトリーチ活動を行うことは難しいことから、業務時間外にひきこもりの若者が住んでいる家庭を訪問した。



**問題 105** 相談援助におけるプランニングに関する以下の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 まず、クライアント自身もっている能力を活用し、何をするかについて検討し、それでも不足する場合に社会資源の活用を考えることになる。
- 2 実践モデルやアプローチを用いてプランニングを行う際には、クライアントを混乱させる可能性があるため、複数ではなく単一のモデルやアプローチを用いるべきである。
- 3 地域包括支援センターでは、今後介護を受ける状態になるおそれのある要支援のクライアントに対して、在宅での生活を支えるために「居宅サービス計画」を立てる。
- 4 援助方針を決めるためのケースカンファレンスにクライアント自身を参加させることは、クライアント本人への精神的負担が大きいため、できるだけ控える。
- 5 介護保険サービスの利用者に対するケアプランには、制度上のサービスが適切に受けられるように、制度外のサービスを組み入れてはならない。

**問題 106** ソーシャルワークにおけるシステム理論やシステムの思考について、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 ソーシャルワークの統合化は、1929年に発行されたミルフォード会議の報告書に一端をみることができるが、それはシステム理論の影響を受けた内容のものであった。
- 2 家族システムは、閉鎖的であり家族内だけで一定の自己完結をしようとするはたらきがあるため、ソーシャルワーカーが介入する余地はない。
- 3 住民参加を基盤とした地域ケアシステムとは、すなわち、住民や専門職がネットワークを形成することによって、地域において協働を可能にするシステムのことである。
- 4 システム理論においては、クライアントは自分の問題を認識できないととらえるため、クライアントを取り巻く環境がもつ潜在的可能性のほうに着目する。
- 5 エコシステムは、生態学ではなく、一般システム理論の考え方を基盤とする概念であるため、クライアントの「機械論」的理解を促進した。

**問題 107** 事例を読んで、スクールソーシャルワーカーである **B** 社会福祉士がとるべき行動として、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

スクールソーシャルワーカーの **B** 社会福祉士は、Y 中学校の相談室で、自身が性的マイノリティであることに悩む生徒 **C** さんの相談に乗っている。**C** さんは、「からだの性（生物学的性）」は女性であるが、「こころの性」は男性であり、「好きになる性」が女性である。「こころの性」が男性であるにもかかわらず、周囲が彼女の「からだの性」が女性であるとして、そのように行動することを強いてくるのが苦痛になっている。学校で最も困るのは、「女子トイレ」を使わなければならないことである。また同じクラスの同級生（女子）に好意を寄せているが、周囲の反応が気になって話しかけることもできない。両親にもこのような悩みを打ち明けられず、将来の就職や結婚にも不安を感じている。これからどのように生活を送っていくべきか、アドバイスがほしいという。

- 1 ソーシャルワーカーは一般社会の規範やルールを最大限に重んじていくべき立場なので、**C** さんにはこのまま、女性としてふるまい続けるようアドバイスをする。
- 2 **B** 社会福祉士は **C** さん自身が困惑していることを受け止めつつ、**C** さん自身が今後どのように生活していけばよいのか、一緒に考えていく。
- 3 **C** さんが「トイレ」の問題で悩んでいることには一定の理解を示しつつも、環境を変えることは難しいため、このまま我慢して使い続けるよう説得する。
- 4 **C** さんが同級生に好意を寄せていることはわかるが、そのような気持ちを隠し続けるようアドバイスする。
- 5 もし **C** さんが本心を打ち明けた場合には両親を傷つけてしまうと考えられることから、両親には自身の悩みを伝えないようアドバイスする。

**問題 108** 事例を読んで、グループワークにおける D ソーシャルワーカー（社会福祉士）の支援のあり方として、**最も適切なものを 1 つ** 選びなさい。

〔事例〕

T 市の障害者地域生活支援センターの D ソーシャルワーカーは、夫がアルコール性肝炎で内科入院を繰り返している E さんから数回の相談を受けてきた。夫は主治医から精神科への受診を促されているが、「自分は手足の障害はあるが、精神障害者ではない」と、受診しようとしなない。E さんは、「私の言い方が悪いから受診してくれないんでしょうか。このままでは夫は会社勤めもできなくなりそうで心配です。こういう人の家族はどうしているのでしょうか」と自信をなくしている。D ソーシャルワーカーは、別の事例で夫が依存症治療を受け始めたという F さんの顔を思い浮かべ、アルコール依存とほかの障害を併せもっている人の家族同士が直接会って話せるグループをつくってはどうかと考え始めた。

- 1 参加メンバーにはあまり他人に知られたいくない事情を抱えた人が多いと考えられるため、グループで話し合う内容や対象家族についての情報は担当スタッフ以外には極力伝えないようにする。
- 2 グループ開始前に、メンバー一人ひとりのおかれている状況やニーズ・感情などについて十分情報収集を行い、グループに対するメンバーの期待や不安を予測しておく。
- 3 グループが参加メンバーを抑圧せず、メンバーの自主性を引き出せるように、プログラム中のメンバーの言動を制限しないようにする。
- 4 「アルコール依存症者の家族」というメンバーの共通性に合致した話題のみを取り上げるようにし、個々のメンバー独自の事情にはふれないようにすることで、グループの凝集性を高める。
- 5 グループの終結に伴う喪失感や拒否感をメンバーが早期から実感してしまうとプログラムの遂行に支障をきたすため、終結については最終日まで話題にしないようにする。

**問題 109** 事例を読んで、アセスメントのためにGソーシャルワーカー（社会福祉士）がとった言動として、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

Hさん(62歳, 男性)は, 妻の強い勧めにより地域包括支援センターのGソーシャルワーカーのもとを訪れた。Gソーシャルワーカーは事前にHさんの妻から、「3, 4年前からHさんの物忘れがひどくなった。次男家族の新築祝いのために銀行口座から引き出したばかりの10万円を紛失したり, それを責められたときに『金をおろして失くしたのはお前だろう』と私に向かって怒鳴るなど, 認知症が疑われる状態である。しかし, 医療機関には頑として受診したがらず困っている」と聞いていた。HさんはGソーシャルワーカーに向かって「ここへ来ないと家を出るとか離婚するとか, 妻があんまりうるさく言うから来てやったけれど, 本当はここへ来る必要はない」「自分は困っていることなど何もない」と強い口調で言い放った。

- 1 Hさんが「困っていない」と言っているため, それ以上Hさんから話を聞くことはせずにそのまま帰宅してもらい, その後に詳しい状況を電話で妻から聞き取った。
- 2 Hさんの問題を理解するため, 物忘れを自覚しているか, ほかの相談機関に行ったことはあるかなど, Gソーシャルワーカーが確認しておきたかった事柄を順番に質問し, Hさんに答えてもらった。
- 3 Hさんから多くの情報を得るにはよい援助関係を築くことが必要なため, Hさんの主張に同意し, 「それは奥さんがよくないですね」と述べて, Hさんが正しいことを強調した。
- 4 Hさんは物忘れがあることを強く否定しているため, プライドを傷つけないよう, 物忘れを想起させるような過去の出来事には極力ふれず, 現在の日常生活の様子だけを丁寧に聴取した。
- 5 不満を抱えながらも来談したHさんへ<sup>ねぎら</sup>労いの言葉をかけてから, 妻が強く来所を勧めた理由をHさんがどのように解釈し, 感じているのかを尋ねた。

**問題 110** 事例を読んで、医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）による患者の意思決定の支援について、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

Jさん（35歳）は慢性腎不全のため人工透析を受け始めて2年目になる。最近、夫から「自分がドナーになるから、思い切って腎臓移植手術を考えてみないか」と言われた。しかしJさんは「まだ30代で、就学前の2人の子どもがいるのに、1日おきに半日も通院先のベッドにいる生活が今後もずっと続くのはつらい。しかし、健康な夫の身体を傷つけてまで移植を受けるべきだろうか。費用も心配だ。万一、夫ともども入院が長引いた場合、子どもたちの面倒は誰がみるのか。結局、透析生活に戻ってしまう人もいると聞く」と考えている。そこでJさんは、通院先の医療ソーシャルワーカー（以下「ワーカー」という。）に相談することにした。

- 1 ワーカーは移植に関する院内の委員会に所属しておらず、インフォームド・コンセントへの関与についても制度化されていないため、主治医に直接相談するよう、Jさんに助言した。
- 2 主治医は、夫のドナーとしての適性が確認できたならば早期に移植手術を受けたほうがよいとの意見であったため、ワーカーもJさんに移植を強く勧めた。
- 3 Jさんは、「移植をするとどうなるのか、もうしばらくワーカーさんと話してから決定したい」と語ったが、早期の意思決定が必要であると判断し、翌日に医師から詳しく説明してもらうように手配した。
- 4 移植手術について悩んでいるJさんに代わり、ワーカーが代理意思決定者として医師との相談を進めた。
- 5 まずはJさんの話を傾聴し、夫からの提案に対する戸惑いや不安を表出できるようにし、その上で、移植を受けるか否かJさん自身で意思決定ができるように、支援していくことを申し出た。

**問題 111** 生活モデルに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 生活モデルでは、人の生活過程を生活空間や生活時間、生活環境における絶え間のないさまざまなやりとりの過程ととらえる。
- 2 生活モデルは、ポストモダニズムの思想を背景として、クライアントの強さを見出そうとするところに特徴がある。
- 3 生活モデルは、直接的な因果関係を示す客観的な証拠(エビデンス)を重視する。
- 4 生活モデルは、現実世界を意味づけながら物語を編み出す存在として、人間を認識するモデルである。
- 5 生活モデルは、精神分析理論を基盤とした短期処遇の方法として体系化された理論モデルである。

**問題 112** 事例を読んで、Kスクールソーシャルワーカーの対応に関する記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事 例〕

Z小学校に配置されているKスクールソーシャルワーカーのところに担任のL先生よりM君について相談があった。L先生によると、M君は元気ではあるが、忘れ物が多く学習面でも遅れがみえ、時々食事をしてきておらず空腹を訴えたり、何日も同じ衣服で登校することがあるため、日々の学習面や生活面で気になる生徒であるとのことであった。保護者である母と面談したところ、母は一人親で自分が働きに出ているがパート就労のため生活が苦しい状態で、M君にもつらい思いをさせていると話してくれた。

- 1 学習・教育上の問題としてとらえ、学校組織内で取り組むことができる対応を考える。
- 2 M君の気持ちを察して、担任のL先生とのみ情報共有をして一緒に対応策を考える。
- 3 緊急な対応が必要なため、M君の生活実態を母親の了解を得ずに自立相談支援機関の相談支援員等に伝える。
- 4 L先生の話の踏まえて学習面の遅れを取り戻すため、M君の母親に至急連絡をとり、地域で行われている学習支援事業の利用を促す。
- 5 M君に対するこれからの対応について校長先生、教頭先生、担任のL先生をはじめ、関係する先生に集まってもらって協議する場を設定する。



**問題 113** 事例を読んで、N市の児童福祉担当職員の対応に関する記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

子どもの泣き声が聞こえるとN市の児童福祉所管課に通告があり、内容を確認したところ、生後10か月になるAちゃんであることがわかった。担当職員が家庭訪問したところ、Aちゃんは外傷もなく元気になっていたものの、母親から「だんだんと動きが活発になって目が離せなくなってきた。先日もこの子が足元にいることを確認しながら昼食の用意をしていたら、突然、隣の部屋から泣き声がするので見に行くと、衝突しても大丈夫なようにタオルを巻いていた乳幼児用ベッドの柵のところでおもちゃが取れないと泣いていた」「引っ越して間もないため近所に顔見知りの人もおらず、出かける場所もわからないためほとんど家で過ごしている。こんなことでいいのかと不安になる」との訴えがあった。

- 1 危険な状態であり専門的な対応を要するケースであるため、直ちに児童相談所に連絡する。
- 2 地域子育て支援拠点事業の実施場所を紹介し、Aちゃんと一緒に行ってみてはどうかと話をする。
- 3 通告があったことを母に対して厳重に注意し、このようなことがないように、子育てについて父親とよく話をするよう促す。
- 4 乳児家庭全戸訪問事業の対象児として訪問するよう関係機関と調整する。
- 5 要保護児童対策地域協議会（代表者会議）を招集して支援方法を検討する。

**問題 114** パールマン (Perlman, H.) による「問題解決アプローチ」に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 生きることは問題解決の過程であるため、困難を病理としてとらえ、その治療と回復を目指す。
- 2 クライエントの支援活用能力をワーカビリティと呼び、問題解決のための重要な要素ととらえる。
- 3 診断主義への回帰を目指し、機能主義に対しては否定的な視点をもつ。
- 4 自我心理学におけるコンピテンスの概念を排除し、学習理論に基づく行動変容を目指す。
- 5 人格 (personality) を「4つのP」のうちで最も重要な要素とし、精神分析の自由連想法を活用する。

**問題 115** ストレングスモデルに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 ストレングスと同時にウィークネスを概念化し、新しい治療モデルを確立した。
- 2 地域社会などの外部環境にはストレングスは存在しないと考え、個人におけるストレングスに着目する。
- 3 「ストレングス」という言葉は、精神分析にルーツがある。
- 4 理念的な基盤として、パターンリズムと診断主義があげられる。
- 5 アメリカのカンザス大学のサリーベイ (Saleebey, D.) は、ストレングスを説明する6つの概念をまとめた。

**問題 116** 事例を読んで、ネットワーキング（フォーマル、インフォーマルサポートの有機的な連携）を伴う支援内容として、適切なものを2つ選びなさい。

〔事例〕

**B** 社会福祉士は、P市にある障害者の就労継続支援事業所に勤務する職員である。ある日、仕事で付き合いのある民生委員から利用者**C**さんについての情報提供があった。**C**さんは40代の男性で、軽度の知的障害があり、高齢の母と二人暮らしである。最近、その母親の体調が悪く、**C**さんのサポートを含む日常生活が困難になってきたと民生委員に話してきたということだった。このところ、**C**さんの遅刻がやや増え、作業にも集中できないことが多かったため、気になった**B** 社会福祉士が原因について尋ねたが、曖昧な答えしか返ってこない状態であった。**B** 社会福祉士は**C**さんの生活状況について確認し、必要に応じて対策を検討すべきだと考えた。

- 1 今後の円滑な手続きのために、P市の障害者・高齢者福祉担当職員に同行を求め、早急に自宅を訪問する。
- 2 職場内でカンファレンスを開き、**C**さんのこれまでの支援経過についての情報を共有する。
- 3 すぐに地域の自治会長に連絡し、隣家と連携して**C**さんの家庭を積極的に支えるよう依頼する。
- 4 現在の**C**さん親子の生活状況を知るために、知り合いである民生委員と一緒に家庭訪問を計画する。
- 5 母親によるネグレクトの疑いがあるため、市の虐待防止センター職員と早急に連携体制をとる。

**問題 117** 援助関係に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者との間に社会正義の原理に基づく関係を形成し、人権擁護の視点から支援を展開するかかわりを「アウトリーチ」と呼ぶ。
- 2 「パターナリズム」とは、援助者ではなくクライアントが援助関係の主導権をとり、主たる判断を行う関係性を指す。
- 3 ストレングスに基づいた援助関係を構築することで、クライアントはエンパワメントされる。
- 4 援助関係における「純粋性」とは、援助者が共感する姿勢を排し、専門職として指導的・権威的立場から援助にかかわろうとする姿勢を指す。
- 5 援助関係において、「転移」については細心の注意を払う必要があるが、「逆転移」については考慮しなくてもよい。

**問題 118** 事例を読んで、この時点でのD相談支援専門員の相談援助に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

軽度の知的障害のあるEさん（35歳）は、就労継続支援事業所（B型）に通いながら自宅で両親とともに生活している。Eさんは近隣のグループホームでの生活を希望しており、母親とともに地域の相談支援事業所のD相談支援専門員のもとを訪れ、初回の面接を行った。その面接において、Eさんと母親に対して個別に面談を行ったところ、Eさんは同じ事業所に通う友人の勧めもあって、半年ほど前からグループホームでの生活を希望しているとのことであった。一方で、母親はグループホームの利用に賛同できないことをD相談支援専門員に打ち明けた。

- 1 半年前からグループホームの利用を考えていたEさんの気持ちを尊重して、その利用を援助目標に設定する。
- 2 母親に、「Eさんも35歳なので、子離れしたほうがよいのではないか」と伝える。
- 3 Eさんに、「なぜここに相談に来る前に母親を説得できなかったのか」ということについて反省を求める。
- 4 グループホーム以外の利用できるサービスを紹介する。
- 5 Eさんの現在の生活状況やグループホーム利用の意向に対し、母親がどのように考えているのか詳しく尋ねる。

## 福祉サービスの組織と経営

**問題 119** リーダーシップに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 マネジャーシップとは、リーダー自身の個人的な要因に基づく影響力である。
- 2 ヘッドシップは、俗に「親分肌」「あねご肌」と呼ばれる気質をいう。
- 3 PM理論によれば、リーダーシップの機能は職務遂行機能（performance）と集団維持機能（maintenance）の2つから構成される。
- 4 レヴィン（Lewin, K.）は、メンバーの満足度と集団の凝集力の両面において、「専制型」のリーダーシップが最も効果的であるとした。
- 5 SL理論によれば、リーダーは一定のリーダーシップ・スタイルに基づいて行動するべきであるとされている。

**問題 120** 動機づけに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 マクレランド（McClelland, D.）の欲求理論では、人は権力欲求のみでモチベーションが上がるとされる。
- 2 マグレガー（McGregor, D.）のX理論・Y理論では、人間は統制と管理のもとにおいてのみ労働を行うため、外発的動機づけがよいとされる。
- 3 シャイン（Schein, E. H.）の複雑人モデルでは、人間は多様な環境にいて、また個性的な存在であるため、それぞれに応じたモチベーションを付することが難しく、画一的な動機づけを行うのがよいとされる。
- 4 責任や権限を明確にすることは、業績の悪化や失敗での責任が課されるため、動機づけの手段として不適當である。
- 5 仕事のやりがいを感じられるよう、個々に合った目標を与えることで、内的モチベーションは付与される。

**問題 121** 経営に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 それぞれの専門性を発揮し、協働できるよう、福祉サービス組織においては組織構造を設けない経営管理を行うほうがよい。
- 2 顧客のニーズや自社の優位性を3C分析し、経営戦略を策定する。
- 3 経営資源の3Mの中で、福祉サービス事業者において最も大切なのはMoney（資産・財的資源）である。
- 4 ベンチマーク分析とは、政治的、経済的、社会的、技術的な視点から外部環境を分析することである。
- 5 PDCAサイクルは、実行（Do）が重要であり、目標を達成するまで実行し続けることが肝要である。

**問題 122** 雇用形態とその特徴に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 正規職員は、雇用期間の定めがある。
- 2 短時間勤務であっても、雇用期間の定めのない正規職員がある。
- 3 事業者は、すべての短時間労働者に定期健康診断を受けさせなくてはならない。
- 4 派遣労働者は、派遣先の事業所と直接雇用契約を結ぶ。
- 5 2016（平成28）年10月より、すべての短時間労働者に被用者保険が適用される。

**問題 123** 福祉サービス第三者評価制度に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 福祉サービス第三者評価は、行政による指導監査と連携して隔年ごとに行われる。
- 2 社会的養護関係施設は、第三者評価を受審しなければならない。
- 3 子ども・子育て支援制度により、2015（平成27）年4月1日から保育所の第三者評価の受審が義務化された。
- 4 福祉サービス第三者評価は、サービス事業所・職員による「自己評価」、利用者による「利用者評価」の結果を総合的に評価する。
- 5 福祉サービス第三者評価の対象は、高齢者分野、児童分野である。

**問題 124** 福祉サービスの組織の把握分析に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 人事・人材は、外部環境としてとらえられる。
- 2 組織がおかれている状況は、内部環境としてとらえられる。
- 3 環境把握の手法の1つである「インタビュー」は、グループインタビューのみのことを行う。
- 4 組織の外部環境の分析にあたっては、ベンチマーク分析が有効である。
- 5 SWOT分析は、組織の環境を分析・整理する手法の1つである。



**問題 125** 法人におけるガバナンスとコンプライアンスに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 ガバナンスとは、法人が法令・規則を守るといふ法令遵守に加え、法の精神や社会規範、あるいは常識・良識に従うことをいう。
- 2 コンプライアンスとは、法人がその目的に沿って適切に経営されるようにすること、または、その仕組みのことをいう。
- 3 特定非営利活動法人のコンプライアンスとして、定款の変更や解散、合併については、理事会における議決事項となっている。
- 4 コンプライアンスの達成のためには、規制の強化が重視されるべきであり、法人の自主性・主体性は重視されなくてもよい。
- 5 法人のガバナンスの基本構造、機関は、それぞれの法人の根拠法に定められている。

## 高齢者に対する支援と介護保険制度

**問題 126** 「高齢者住まい法」のサービス付き高齢者向け住宅に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 「高齢者住まい法」の改正により、従来の高齢者円滑入居賃貸住宅、高齢者専用賃貸住宅に加え、サービス付き高齢者向け住宅の制度が始まった。
- 2 サービス付き高齢者向け住宅では、介護サービスの提供が義務づけられており、施設の職員によってサービス提供が行われることが登録基準となっている。
- 3 サービス付き高齢者向け住宅への入居には、65歳以上の高齢者であることと介護保険制度における要介護以上の認定を受けていることが、要件となっている。
- 4 サービス付き高齢者向け住宅について、法改正により市町村への登録制度が創設され、事業者は年度ごとに登録を更新することが求められている。
- 5 サービス付き高齢者向け住宅として登録するためには、国土交通大臣が定めるいわゆるバリアフリー基準を満たすことが必要である。

(注) 「高齢者住まい法」とは、「高齢者の居住の安定確保に関する法律」のことである。

**問題 127** 事例を読んで、地域包括支援センターの社会福祉士として最初にすべき対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

Q市内の地域包括支援センターに勤務するF社会福祉士のもとへ、地域住民のGさんから電話が入った。Gさんの隣に住むHさん（80代、女性）のことが気がかりであるという。Gさんによれば、「Hさんは脳梗塞により半年ほどU病院に入院していて、先週退院して自宅に戻り、息子が面倒をみているはずだが、しばしば息子が大声で怒鳴り散らしたり、物を投げたりしているような音がしているので、心配になって電話をした」ということであった。また、「退院後、U病院に通院するHさん親子を見かけたので声をかけたが、Hさんは返事もなくうつむいているばかりで、息子は『大丈夫です』の一点張りだった」「Hさんは介護保険などのサービスを利用している様子もなく、心配である」とのことである。

- 1 この親子のやり取りで虐待が起きているといえるかどうか、あらためて確認してから連絡するようGさんに伝える。
- 2 怒鳴り声の様子から、警察に援助要請を行い、警察官同行のもと、Hさん宅への立入調査を実施する。
- 3 地域包括支援センターの複数の職員間で話し合い、同居している息子による虐待の可能性について判断する。
- 4 U病院の主治医に連絡し、Hさん親子の通院時の様子について情報提供を依頼する。
- 5 本人の様子から、緊急性が高いと判断されるため、特別養護老人ホームへの措置入所の手続きを進める。

**問題 128** 事例を読んで、地域ケア会議における社会福祉士の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

R市内の地域包括支援センターのJ社会福祉士は、来月に予定されている地域ケア会議について、市内にあるU居宅介護支援事業所のK介護支援専門員と相談し、かねてより包括的・継続的ケアマネジメント支援でかかわっていたK介護支援専門員が担当しているLさんを事例として取り上げることにした。Lさんは訪問介護のみ利用している独居の男性（81歳，要介護1）で、最近では認知症と思われる症状がみられ始め、消費者被害にあっている疑いがある。電話によるセールスで複数の健康食品を購入し、多額の支払いを繰り返している様子だが、本人が詳細を覚えておらず、実態がつかめない。K介護支援専門員としては、R市で消費者被害防止活動を行っているボランティアグループの代表者にも出席してもらい、地域での対策なども話し合いたいとのことであった。

- 1 介護支援専門員が主体的に地域ケア会議を開催するよう、K介護支援専門員に次回の地域ケア会議を主催するよう勧める。
- 2 このケースでは、地域ケア会議にボランティアグループの代表者が参加することは望ましくないため、事前の聞き取りにより意見をもらっておく。
- 3 今回の地域ケア会議は個別ケースの検討に焦点を当てるべきであり、地域での消費者被害対策は別途検討する。
- 4 法律に関する専門的な意見が必要と考えられるため、消費者被害に詳しい弁護士に出席を依頼する。
- 5 地域ケア会議の開催により、サービス担当者会議を兼ねることを提案する。

**問題 129** 介護の理念に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 介護のプロセスとエンパワメントのプロセスは別のものとして、それぞれ分けて検討する必要がある。
- 2 ターミナル期にある高齢者のQOLについて、介護の視点から、生活の質よりも生命の質としてとらえるべきである。
- 3 利用者の苦情や怒りなどの否定的感情は、表現できる力をストレングスとしてとらえてかかわることも重要である。
- 4 「2015年の高齢者介護」では、「高齢者の自己実現」を確保することが最も重要であるとされた。
- 5 2007年（平成19年）の社会福祉士及び介護福祉士法の改正により、介護福祉士は「要介護者本人及びその家族との連携を保たなければならない」と同法に規定された。

(注) 「2015年の高齢者介護」とは、高齢者介護研究会報告「2015年の高齢者介護～高齢者の尊厳を支えるケアの確立に向けて～」のことである。

**問題 130** 要介護高齢者への介護の方法に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 車いすで段差を上がる場合は、後ろ向きになり、後輪を段差に当てて引き上げる。
- 2 片麻痺により杖を使用している場合の3動作歩行では、階段の下りは杖、健側、患側の順に下る。
- 3 食事の支援では、一般的な食事時間内に食べ終わるよう、食事量を工夫することが大切である。
- 4 入浴は、食後1時間以内に行えるよう工夫する必要がある。
- 5 移動動作の支援において、介護者は支持基底面を広くとることが必要である。

**問題 131** 高齢者に対する住環境整備に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 加齢による下肢筋力の低下を予防するため、筋力を維持できるように住居内の段差は残したほうがよい。
- 2 浴室では、脱衣所と浴室の温度差が小さくなるよう工夫したほうがよい。
- 3 居住空間において、階段や手すり、壁には白と黄色の色彩を全面的に使用したほうがよい。
- 4 2階建ての住居の場合、寝室は明るく眺めのよい2階部分に配置することが望ましい。
- 5 ドアノブは、レバーハンドルよりも、握り式を使用するほうが望ましい。

**問題 132** 介護保険制度における介護報酬に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 介護報酬の額は、都道府県が定めている。
- 2 介護サービス利用料の利用者負担は3割となった。
- 3 介護報酬は、介護サービスの種類ごとに一律に単位数が決められている。
- 4 1単位の単価は、都道府県ごとに決められている。
- 5 施設サービスの介護報酬には、居住費と食費が含まれない。

**問題 133** 老人福祉法における老人福祉施設に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 老人福祉法における養護老人ホームは、介護保険法において介護老人福祉施設として位置づけられている。
- 2 老人福祉法に規定される老人居宅生活支援事業の措置は、介護保険法の介護サービスに優先して提供される。
- 3 老人福祉法において、特別養護老人ホームに入所する要件の1つとして、経済的要件が規定されている。
- 4 居住地がわからない者に対する老人福祉法の措置は、現在地の都道府県知事が行うと規定されている。
- 5 60歳未満の場合、一定の基準に該当することを要件として、養護老人ホームへの入所の措置を行う場合がある。

**問題 134** 介護支援専門員及び主任介護支援専門員に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 介護支援専門員の登録には、国が実施する介護支援専門員実務研修受講試験に合格する必要がある。
- 2 介護支援専門員証には有効期間があり、有効期間の更新には介護支援専門員更新試験に合格する必要がある。
- 3 地域包括支援センターに所属し、地域の介護支援専門員に適切な指導・助言を行う者を「計画担当介護支援専門員」という。
- 4 主任介護支援専門員になるには、介護支援専門員としての実務経験等の一定の要件を満たし、主任介護支援専門員研修を受講する必要がある。
- 5 指定居宅介護支援事業所に所属している介護支援専門員は、契約予定の新規の要介護認定申請者について、原則として要介護認定における面接調査を行う。

**問題 135** 我が国の少子高齢社会と社会問題に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 厚生労働省によれば、認知症の有病率は、全国の65歳以上の高齢者の3%であると報告されている。
- 2 一人暮らし高齢者において男性高齢者の占める割合は、年々減少する傾向にある。
- 3 平均世帯人員数は、平成に入って初めて、減少傾向に転じた。
- 4 2014年（平成26年）の総務省の「人口推計」によれば、高齢化率が最も高い都道府県は沖縄県である。
- 5 厚生労働省は、2010年（平成22年）において「認知症高齢者の日常生活自立度」がⅡ以上の高齢者のうち、約半数が居宅で生活していると報告した。



## 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度

**問題 136** 我が国の戦後の児童福祉に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 少子化対策として実施された1994年（平成6年）の「今後の子育て支援のための施策の基本的方向について」（エンゼルプラン）は、1995年（平成7年）から5年計画とされた。
- 2 「この子らを世の光に」という言葉を残した糸賀一雄は、戦後の混乱期に知的障害児施設「びわこ学園」を創設した。
- 3 児童福祉法は1947年（昭和22年）の成立当時から要保護児童だけでなく、すべての児童の健全な成長発達の保障を図ろうとするものであった。
- 4 母子福祉法は、1964年（昭和39年）に母子及び寡婦福祉法に改正されたが、2014年（平成26年）には母子及び父子並びに寡婦福祉法に改正されている。
- 5 戦後、石井十次は岡山孤児院を設立し、「児童福祉の父」とも言われている。

**問題 137** 子ども・子育て支援新制度における保育の利用に関する記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 保育認定は保育の必要量の認定を行うもので、保護者は保育の利用を希望する保育所や認定こども園に直接申請し、認定を受ける。
- 2 保育の提供にあたり、保育標準時間利用、保育短時間利用に区分し、必要量が判断されるようになった。
- 3 保育の必要性の認定区分は1号認定（満3歳児未満の保育認定）、2号認定（満3歳以上の保育認定）、3号認定（満3歳以上で教育のみの利用）である。
- 4 子ども・子育て支援新制度は2012年（平成24年）の8月から実施された。
- 5 子ども・子育て支援新制度における地域型保育は、0歳から就学前の子どもを施設において少数の単位で預かる事業である。

**問題 138** 児童虐待の防止等に関する法律に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 保護者の同意による施設入所の場合は、保護者に対して児童との面会の制限や通信の制限を行うことはできない。
- 2 児童相談所の職員が臨検または捜索をする際、警察官の立ち会いがないと解錠することはできない。
- 3 都道府県知事は、保護者が出頭要求及び再出頭要求を拒否した場合、警察署長の許可状により、児童相談所の職員に臨検させることができる。
- 4 児童の安全確認や一時保護を行う際には、児童相談所長は警察署長に援助を求めなければならない。
- 5 学校は、児童及び保護者に対して、児童虐待の防止のための教育または啓発に努めなければならない。

**問題 139** 児童・家庭福祉制度における機関・施設に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 児童家庭支援センターは、児童家庭福祉に関する相談機能を充実するために福祉事務所に設置されている。
- 2 児童相談所は、児童福祉法に基づく行政機関であり、児童家庭福祉に関する相談の一義的窓口として位置づけられている。
- 3 家庭裁判所は、裁判所法に基づく司法機関であり、家事事件や少年事件を扱っている。
- 4 民生委員は、厚生労働大臣により委嘱され、児童の福祉に関する機関と児童委員との連絡調整を行うとともに、児童委員の活動に対する援助及び協力を行っている。
- 5 保健所は、地域保健法に基づいて設置される機関であり、住民に対し、健康相談や保健指導、健康診査その他地域保健に関し必要な事業を行うことを目的としている。

**問題 140** 事例を読んで、次の記述のうち、児童相談所の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

M君（11歳）の両親は、1年前に離婚し、M君は母親に引き取られた。M君は、両親の離婚直後は少し元気がない様子であったが、最近は元気に学校に登校してきていた。しかし、2週間前くらいからM君の表情に活気がなくなり、授業中に少し落ち着きのない様子がみられるようになった。担任教員はM君の様子の変化を気にかけていたが、ある日、腕に青あざができているのを見つけ、M君に話をきいた。M君ははじめ黙っていたが、「お母さんから毎日のように殴られている」と訴えた。この訴えを聞いた担任教員は校長に報告し、小学校から児童相談所に通告があった。

- 1 児童相談所の職員が母親の職場へ連絡をして話を聴く。
- 2 直ちにM君を一時保護する。
- 3 虐待かどうかの判断ができないので、小学校に対応を任せ、当面、様子を見るよう伝える。
- 4 児童相談所の機能や業務の流れなどについて学校に説明を行い、児童相談所と学校それぞれの役割分担を明確にする。
- 5 M君を児童養護施設へ入所させるための措置の手続きを行う。

**問題 141** 子ども・子育て支援新制度の概要に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 子ども・子育て支援新制度では、都道府県が実施主体となった。
- 2 住民の意見を計画に反映するために、子ども・子育て会議は、都道府県・市町村にも設置が義務づけられた。
- 3 子ども・子育て支援新制度では、子どものための教育・保育給付として施設型給付と地域型保育給付が創設された。
- 4 地域子ども・子育て支援事業の放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)は、対象年齢が15歳までに拡大された。
- 5 幼保連携型認定こども園は、教育基本法第6条に基づく学校教育のみを提供するものと位置づけられた。

**問題 142** 母子及び父子並びに寡婦福祉法に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 母子及び父子並びに寡婦福祉法では、児童を「20歳に満たない者」としている。
- 2 母子及び父子並びに寡婦福祉法に規定する「配偶者のない男子」とは、配偶者と死別して現に婚姻をしていない男子のみをいう。
- 3 母子及び父子並びに寡婦福祉法では、母性の尊重が明記され、保護が謳<sup>うた</sup>われている。
- 4 2014年(平成26年)の改正で、名称が母子及び父子並びに寡婦福祉法となったが、母子福祉団体、母子福祉施設の改称は行われなかった。
- 5 母子及び父子並びに寡婦福祉法では、子ども等に対する教育の支援、生活の支援、就労の支援、経済的支援等の基本理念が示されている。

## 就労支援サービス

**問題 143** 福祉施策における就労支援と雇用施策に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 就労移行支援事業所では、身体障害者は利用対象とならない。
- 2 福祉施策における就労支援の事業所では、個々の利用者に応じた「働く」ための訓練が行われる。
- 3 特例子会社に就職した障害者は、障害等級にかかわらず1人当たり2人分として雇用率にカウントされる。
- 4 障害者雇用にあたって、採用試験時での合理的配慮は必要ない。
- 5 当該企業にとって過重な負担が生じて、障害者を雇用するにあたって合理的な配慮を提供しなければならない。

**問題 144** 厚生労働省の通知における就労支援員の役割に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 就労支援員の中核的な役割は、利用者にサービス実施事業所内においてコミュニケーションの訓練を行うことである。
- 2 就労支援員は、就労継続支援B型に配置されている。
- 3 就労支援員の役割の1つに、利用者にグループホームを紹介することが含まれている。
- 4 就労支援員の役割の1つに、雇用を前提とした企業実習に利用者を引率することが含まれている。
- 5 就労支援員の役割には、企業・家族との調整は含まれない。

**問題 145** 2015年（平成27年）に総務省統計局が公表した「統計からみた我が国の高齢者（65歳以上）」に示された、我が国における高齢者の就労状況に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 高齢者の就業者数は、11年連続で増加している。
- 2 2014年（平成26年）の日本における高齢者は10人のうち1人が働いている。
- 3 就業者総数に占める高齢者の割合は、ここ10年では増加していない。
- 4 高齢雇用者の約3分の1は非正規の職員・従業員である。
- 5 雇用形態が非正規の職員・従業員の高齢雇用者について、現在の雇用形態についての主な理由別にみると、「専門的な技能等をいかせるから」が最も多い。

**問題 146** 生活困窮者等に関する就労支援施策に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 生活困窮者自立相談支援事業とは、就労自立が可能な相談者を対象に選定して行うものである。
- 2 生活困窮者就労準備支援事業とは、すぐに就労が困難な人々に最長で1年、プログラムにそって、一般就労に向けた基礎能力を養いながら就労に向けた支援や就労機会の提供を行うものである。
- 3 生活保護受給者等就労自立促進事業の対象者は、将来的な就労への移行のため本人の状況に応じた柔軟な働き方をする必要がある者である。
- 4 中間的就労とは、正社員になることを希望する非正規雇用の人に対して、企業が3年間の限定で、それらの人を正社員として雇用することである。
- 5 生活困窮者自立支援法による就労支援施策は、相談開始から1年以内に相談者が一般就労に就くことが目的である。

## 更生保護制度

**問題 147** 更生保護に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 現在の更生保護の基本法である更生保護法は、犯罪者予防更生法、執行猶予者保護観察法、更生緊急保護法、保護司法の4つの関連法規を整理・統合する形で成立した。
- 2 更生保護は刑事司法の一部であるため、その処遇は、画一的に行うことを心がけ、個別化することは避けなければならない。
- 3 更生保護は保護観察中の者を対象とすることから、刑期を終えた者に対する援助を規定した制度はない。
- 4 更生保護制度は、刑事上の手続きにかかわることが多いため、国や国家公務員である保護観察官が中心となって行うこととされ、国民が協力することは求められていない。
- 5 更生保護の中核である保護観察の機能は、指導監督と補導援護と呼ばれるものからなっている。

**問題 148** 更生保護における生活環境の調整と仮釈放に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 刑事施設等に収容中の者に対する生活環境の調整は、刑務所の刑務官又は保護観察官が行う。
- 2 仮釈放の許可基準の要件である「改悛の状があるとき」の判断の目安は、被害者への賠償の有無である。
- 3 仮釈放の許否を判断するのは地方更生保護委員会であるが、仮釈放を決定するのは判決を下した裁判所である。
- 4 刑事施設等に収容中の者に対する生活環境の調整において調整が行われる事項は、釈放後の住居を確保することに限られ、家族や職場は対象としない。
- 5 刑事施設等に収容中の者に対する生活環境の調整は、通常、刑事施設又は少年院の長からその者の身上関係事項が通知されることによって開始される。



**問題 149** 医療観察制度に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 医療観察制度における保護観察所の役割は、生活環境の調査、生活環境の調整、裁判官との合議体による処遇決定、精神保健観察の実施などである。
- 2 精神保健観察は、地域において継続的な医療を確保することを目的として、本人の通院状況や生活状況を見守り、必要な助言指導等を行うものである。
- 3 精神保健観察に付された者は、更生保護法に規定される一般遵守事項を遵守しなければならない。
- 4 保護観察所において医療観察制度にかかる業務に従事しているのは、保護観察官と保護司である。
- 5 精神保健観察による地域社会における処遇の期間は、原則として6か月とされている。

問題 150 更生保護における近年の動向に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 刑の一部執行猶予制度の導入により、一定期間、保護観察を実施したのち、残りの刑期を施設収容して施設内処遇を実施することができるようになった。
- 2 保護観察対象者全員に対して社会貢献活動が導入され、裁判所の命令によって一定時間の参加が義務づけられることになった。
- 3 地域生活定着支援センターが全国に設置され、保護観察官による濃密な指導監督と充実強化された就労支援が行われている。
- 4 特別遵守事項に設定して受講を義務づける専門的処遇プログラムとして、性犯罪処遇プログラム、覚せい剤事犯者処遇プログラム、暴力防止プログラム、飲酒運転防止プログラムが導入されている。
- 5 保護司制度の基盤の充実のため、保護司定数の大幅な増員が図られた。